

日三十月三



定額一圓五分... 發行所 常警毎日新聞社... 電話六三三八番

### 郷土の花 山崎伍長 (三)

#### 飯野小學校生徒合作

沼田「沼田は小學校二年生の少女からの金と手紙をいただいたのであります。中隊長「ウム……」沼田「その手紙はこれです」(差出す)

『満洲に行つて御國の爲私達の爲にはたらいて下さるおぢいさまお見さまひさ子は今年二年生です。毎々學校で先生から皆様のお働きになつたことをきえてうれしくてたまりません。ひさ子も男に生れたらさつと御國の爲につくします、でもひさ子は女であります、戦争には行かれせん然し國に残つて忠義を盡します。これはお父さんお母さんにいただいたものです。ようやく一圓となりまして。お正月のマリ買はないの……。おいしものでも買つて食べて下さい。そして戦争にはさつと勝つて下さい。さようなら 尋常二年 永沼ひさ子 ウム……感心だなア……二年生だ…… 井上「井上にはこの手紙であります……一年生から

であります。(差出す) 兵隊さんは僕達の爲に寒い満洲で働いて下さいませから何かお禮をあげたいのですが兵隊さんは何がすきですかわかりませんから、僕の貯金した二十錢でタバコとキヤラメルと買つて送ります、いやだつたらごめんない大きくなつたら兵隊さんになります、お元気でね 一年生 飯田 茂

中隊長「ウム……」 近藤「近藤にはこの手紙であります」 中隊長「小學生からか？」 近藤「はい 尋常科五年生

#### ノート

茶碗蒸其の他總べ 湯気が上つてさへ居れば強火でない方が美味しく出来る強火だと鬆が立ち易い。

からであります」 中隊長「ウム……」 寒くなつて来ました、満洲の地はどんなにか寒いことせう、毎日號外の來るのを待つて見る度に支那の意地悪るが早くなほるやうにと願つて居り

ます。私達の學校の近所で二三日前から演習して居るのを見て満洲の様子を思ひ浮べて居ります。あの悪い支那兵をまかして下さる兵隊様にあつて御禮申し上げます。僕達が何の心配もなく毎日勉強の出来るのも皆兵隊さん達のお蔭です。

明日の献立 朝「すまし汁—根みつ葉油揚げ 晝「旨煮—竹の子 いか木の芽 晩「焼肴—鮮魚 あられ 生姜

せいぜい御身を御大切になされ、皇國の爲に盡して下さい。これは學級自治會で相談して集めたお金です少しですがお使ひ下さい。 中隊長「ウム……感心だなア……泣かされてしまふしつかりやらうな……どうだ山崎、山崎のには」 山崎「はい、山崎の慰問袋には古いハンカチが一枚入つて居りました。それを山崎のお守りとして居るのであります」 中隊長「何？古ハンカチのお守り？(感入つた態) どうしたわけか？」 山崎「それはこの手紙であります」

### 美容術見習生募集

女子にも生活の安定は腕に職

年齢十六七才以上で御希望のお方は至急御申込み下さい 尙御経験ある方にて御申込み希望のお方には特に御相談申し上げます 平町白銀町十一番地

### 高橋輝子

電話六三八番

### 是非御利用を

營業時間午後九時迄 平町四丁目河岸通り

三井質店 電話六〇六番

### うなぎの御用命は

### うなぎ奴

毎度御ひいき 有難ふ御座ります 平町田町(電話二二三番) ホール御座敷の設備あります。皆様の御立寄を!!

### 御贈答に!!! 漆器を!!!

誠實勉強 親切第一 在庫豊富 是非御用命を 平町三丁目北裏(元郵便局裏通り)

### 漆器店

店員募集 十三才迄位 小 店員 三十才迄位 外 店員

### 櫻花廣告及募集に就て

例年の通り平の花をより以上美化し町の繁榮を謀り度主催致しました何卒多数御申込み願ひます 一、殊に本年は公園に假ホームを設置尙平藝妓連の新曲手踊等にて觀客を歓迎する筈ですから廣告として一層効果が有りませす 一、當組は特に左記破格料金にて奉仕致します

- 岐阜提灯 壹燈二付 金壹圓五拾錢 六角雪洞 壹燈二付 金貳圓貳拾錢 一、本廣告燈は櫻花満開の頃を見計ひ十日間點火致します 一、募集締切は四月二日

### 平消防組

### 成田山大護摩修行 團體募集

一、四月三日 午前七時二十五分平驛發 四月四日 午前成田解散 一、會費 金八圓五十錢 但片道汽車賃、車中晝食費、成田宿泊及茶代祝儀大護摩修行費箱札代、一等坊入料及祝儀、其他解散迄の諸費一切を含む (準備の都合あり至急御申込みを乞ふ)

### 井上貞治郎

成田山大新築講中講元 三月吉日 平・五丁目

### 外科

門專光 X 科線 上田外科病院 平町南町 電話一二九番

合格の誓いの聲

磐城中等學校 (考査番順) 仲村堯 佐々木良夫 齊藤康哉馬口 一郎 伊藤豊 八田宗市 園部健次郎 内村忠雄 猪狩三良 青戸兵司 鈴木 二郎 橋本年雄 關幸雄 齋藤金郎 大平四郎 太田 武行 竹内頼弘 蛭田丈夫 吉田益三 北郷繁 晝野喜 四郎 丹野敬三 渡邊裕 秋山仁市 片寄一男 佐藤 守 磯上加衛 中川信一 片寄保枝 萩原茂人 藪部 隆一 吉田伴四郎 岡部泰 壽 平野井正治 佐川正人 白土良平 吉田武 佐々木 高伯 遊佐善夫 野木孝司 上野野憲次 根本忠雄 杉 浦直 遠藤吉雄 吉田三郎 鈴木健夫 小野常廣 大平 泰介 四家貴良 高羽敏夫 大柴正道 小野文雄 酒井 英安 山野邊武 齋藤敏夫 影山忠英 佐藤正 江尻才 治郎 舟生保久 佐藤元弘 吉江忠徳 東郷統一郎 志 賀幹男 馬目大 小林一男 根本正元 鈴木弘之 片寄 藤次 松永輝美 石黒武雄 木田敏夫 高橋文三 阿部 新平 栗原欣一 振旗武男 加美山啓介 吉本舜一 遠 藤芳行 石橋武 渡邊和夫 齋藤孝正 白土弘 鈴木康 男 新妻芳弘 草野仁良 八代英 横内直寛 阿久津 誠 松浦孝 永山定美 室 越廣美 川角清 泉己代次

木司郎 名尾卓朗 小林通

繁 植松茂 大平九十一 梶原清喜 坂本勝信 小野 忠弘 齋藤武 富岡定良 阿部豊司 本庄幸夫 新妻 久男 濱崎廣太郎 明智博 吉田武郎 上遠野馨 山崎 道雄 久保木文夫 小野等 飯島宗亨 坂本繁 河野和 平 遠藤幸春 宮澤光伸 岡部恒雄 堀越改造 勝倉 文雄 酒井弘文 大友美實 小野丈夫 青木久 菅田甫 高原四郎 信澤清一 大間 順三 鈴木慶一 松崎至男 鈴木義康 小野離 白井敏 大平芳弘 鈴木忠三 松崎 徳明 鮫島信雄 白石長兵 衛猪狀二郎 橋本光雄 小 曾野昭 太田志雄太 二階 堂健吉 伊關修三 渡邊正 夫 伊藤清 村山謙吉 石 井吉男 高木孝一 野木健 男 鈴木駒之助

昨日總會

既報石城郡蓄産組合の定期 總會は昨日午前十時よ り団体事務所樓上に開會左 記議案を全部可決した

鯨川江筋改修工事

起工式へ知事臨席 來月十五日頃に變更 既報鯨川江筋の改修工事起 工式は來月十五日頃に變更 を見たが當日は知事又は内 務部長及び耕地課長が出席 する筈

大野村二毛作品評

賞品授與式を舉行

石城郡大野村では郡農會の 後援で二毛作品評會を催し 出品百餘點の多數に及んだ が審査の結果受賞者左の如 く決定昨日賞品の授與式を 行つた

山内大佐移轉

大町元平商業學校教諭砲兵 大佐山内武夫氏は今般東京 に移轉する筈になり二、三 日中に出發の豫定である

平野の村會

飯野村では去る廿八日午前 九時より役場内に村會を招 集六年度歳入出決算承認其 他を附議した

平町人專

回出生 立町九六 當時山形縣米 澤市北堀端町三一〇三渡 邊元吉氏四女仲子

回出生

立町九六 當時山形縣米 澤市北堀端町三一〇三渡 邊元吉氏四女仲子

# 學校成績の事から

## 子供の喧嘩へ親が大格闘の眞ツ最中巡查

石城郡内郷村大字綴字高坂居住坑夫安藤富次三男敏治(一七)は廿八日午後三時頃自宅附近で隣家の山田萬吉二男淳(七)と學校の成績の事から喧嘩を初め組み伏せられた年下の敏治が悲鳴を擧

### 大格闘の眞ツ最中巡查

げたのを聞いて同人の父親富次が飛出し淳を散々毆打したので今度は淳の父親萬吉が黙つて居す到々親同志で大格闘を演じて大騒ぎの折巡廻中の駐在所員に取押へられた

# 平の櫻を

## 見ないのが残念

榮轉の上田檢事語る

仙臺地方裁判所檢事局に榮轉した檢事上田次郎氏は平町を去るにのぞみて榮轉の喜びを包んで左の如く語る  
皆様には大變お世話になりました出發は未定であります今年花見が出来

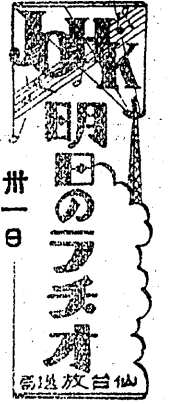
# 下相談に

## 使つた金だと

### 横領事實否定

長塚村の疑獄事件……

双葉郡長塚村前村長江岡榮次(五)及び同村現助役安井實(五)の兩名が昭和五年同村澤の入り貯水池を新設工事 三千七百圓



### 今晚の部

後六、〇〇 子供の時間  
ハートモカ合唱 仙臺リ  
リカルハートモカ 指揮  
伊勢秋彦  
後六、二五 講演「傷害事故  
故對策としての急救醫療  
施設に就て」醫學博士日  
影薫

### 明日の部

ユース 氣象通報 番組表  
告  
後二、〇〇 家庭講座  
後六、〇〇 子供の時間  
お話「蒙古」陸軍歩兵少佐  
下永憲次  
後六、二五 講演  
後七、三〇 時局特別講演  
商工大臣 中島久萬吉  
後八、〇〇 管絃樂新交響  
樂團練習所より中繼日本  
放送交響樂團指揮ニコラ  
イシフエルブラント  
後八、五〇 連續講演「水  
戸黃門道中記」終席田邊  
南龍  
後九、五〇 日本棋院春季  
大手合戦績

# 電柱に衝突し

## 悶絶中盗る

### 鼠賊餘りに薄情

石城郡玉川村字林城居住雜貨商藤村順(三)は廿八日午後四時頃湯本町上町地内を自轉車で通行中運轉を誤つて傍の電柱に衝突倒暫く悶絶中後部に積んで置いた齒磨の風呂敷を何者かに窃取され駐在所に訴へ出た

は来る四月十三日午前九時である縣では江岡及び安井の兩名を相手取り騙取金額に對し損害賠償請求の訴訟を提起してあるので縣より知事代理として工事課石綿屬が出張し來り傍聴席に顔を見せた

# 彈丸除け

## 護符を送る

石城郡四倉町本町坂本新八郎氏は此程在滿出征兵の彈丸除にと同町湯殿山の護符

百體を關東軍に發送した

# 無免許

## 空氣銃

石城郡夏井村大字下大越字北宣野十二番地石工阿部友安(三)は無免許の空氣銃を使用し自宅庭前に於て雀一羽を捕獲し狩獵法違反として罰金二十圓に本日平區裁判所に於て略式命令を以て處分された

# 古河に博士二人

## 新たに原院長を加へて

石城郡好間村古河炭礦附屬病院院長原重熊氏は京都帝大醫學部に野兎病の研究に關し博士論文を提出中の處去る廿一日同教授會で博士號の授與を決定したが同所長工學博士萬野十郎氏と共に古河炭礦の好間礦業所には二人の博士を持つ事になり

從業員も大喜びである

# 赤井納稅表彰

石城郡赤井村役場では去る廿六日午前九時より役場内で唯野稅務署長臨席第十一回納稅組合表彰式を舉行八組合及び優良組合員鈴木基次郎外九十九名の表彰を行つた

# 本縣聯合青年團

## 來月平町に開催

本縣聯合青年團にては昨日午前十時より縣農會に於て代議員會を開き協議の結果本年度總會は來月中旬平町に於て開く事に決定したと

新學年の準備 平町各小學校にては本日午前九時より張簿整理其他新學年の準備を盡した

# 第二家事教育

平第二小學校にては高等科の女生徒に對し今學年より文務省圖書局改訂の新家事教科書を使用し實生活に即した家事教育を行ふと

市原醫院  
平町 田町  
電話一四四番



# 藤栗新劇

【禁轉載上演及映畫】

悟道軒圓玉演  
近藤紫雲畫  
佐々木見山

第三百三席

カルメラ大助と談合

菊地大六は松崎采女を呼び寄せ

大「先づ貴公も渡邊も痛い腹を切らずに済み先づ以つて目出度い」

松「これも先生の御蔭で御座います」

大「山本克己を辛き目に合せて遣つた、定めし彼も驚いたであらう」

松「時に小きんに小兼の二人はどうなりましたか」

大「道場に入れて置いた先方から受取りに参つたならばまた油をしぼつて遣るであらう」

松「左様で御座いますか」

と云つたが松崎に渡邊は菊地大六の道場に來て見ると二人の女は柱にくっされて居る渡邊に松崎はよい氣味だと笑つて居ります、大六は折々二人の縛を解き

大「驚いたであらうな」

小きん「何卒歸して下さいまし」

大「戻してはやるが今暫く此の道場に居れサア、食事をしる食べ物を與へた食べてしまつた頃に又縛り付ける今度は茶を飲めと縛を解き茶を與へそれから又縛つてしまふ、イヤ二人

大「何ういふ處からそんなあだなが付いた」  
藤「そんな事を聞いてはいけません返答に困ります」  
大「イヤそれを聞かぬうち二人を引渡すことは出来ぬ、貴様がこれへ参つたからには小きんに小兼の二人を受け取る爲であらう」  
藤「左様でございます、二人が居なければ小屋を開ける事が出来ません、何しろ大層人氣がたつて居りました二人が出て馬を使つてくれば親方は福々でございます、それが居なくなつては親方は申すまでもなく此

驚き何うぞ助けて下さいと泣いて居る其處へ此の二人を雇つて金儲けをして居る香具師の樋口屋の手代が菊地の許に出て來た大六は早速面會して

大「何ういふ處からそんなあだなが付いた」  
藤「そんな事を聞いてはいけません返答に困ります」  
大「イヤそれを聞かぬうち二人を引渡すことは出来ぬ、貴様がこれへ参つたからには小きんに小兼の二人を受け取る爲であらう」  
藤「左様でございます、二人が居なければ小屋を開ける事が出来ません、何しろ大層人氣がたつて居りました二人が出て馬を使つてくれば親方は福々でございます、それが居なくなつては親方は申すまでもなく此



○「左様でございますかカルメラの藤助と申します」

大「カルメラの藤助それは面白い名だな、何う云ふ譯でカルメラと云ふ察するにそれは苗字であらう」

藤「イヤ苗字ではございません、あだ名で御座います」

大「何ういふ處からそんなあだなが付いた」  
藤「そんな事を聞いてはいけません返答に困ります」  
大「イヤそれを聞かぬうち二人を引渡すことは出来ぬ、貴様がこれへ参つたからには小きんに小兼の二人を受け取る爲であらう」  
藤「左様でございます、二人が居なければ小屋を開ける事が出来ません、何しろ大層人氣がたつて居りました二人が出て馬を使つてくれば親方は福々でございます、それが居なくなつては親方は申すまでもなく此

藤「それは心得て居ります私の方でも一文も出さずに二人を渡してくれとは申しませんが失禮でございますが御酒代としてこれへ持参いたしました」  
大「それはよく其處へ心付いた、流石に貴様は苦勞人だな、時に藤助、何で貴様のことをカルメラと云ふ」  
藤「困りますねそんな事を聞かれてはごらんを通り私には質の悪いほうさうにかゝりまして顔にボツ／＼穴が開いて居ります」  
大「ウム大分穴がある、俺も男振は宜しくないが貴様もまづい顔を致し居るな」  
藤「左様でございます、これも皆ほうさうの爲でございます」  
大「ほうさうはいたづらものだな」  
藤「顔に穴の開いてゐる處が縁日などで賣つて居りますカルメラと云ふ菓子に似て居りますから其處で悠々云ふあだ名が付きました」  
大「成程程それであだ名の仔細は判つた次に酒代として持つて参つた此の目録は何程ある」  
藤「千疋でございます大千疋

と申せば二兩二分であらうこれよく聞け小きんに小兼は松崎に渡邊と云ふ者を欺き殿様の乗馬をうばひ取つた者だ、さすれば斬つて首に致すも仔細ないか女子のこと故命は助けてやるそれにしても二人の命を求めめる代金が二兩二分とは安いな

藤「何卒十兩ばかりにまけて下さいまし」  
大「イヤ百兩かけては引渡すことはならぬ」  
と云はれて藤助は益々困つた大六はニヤ／＼笑つてゐる。

### 通學生用革靴

ボックス編上靴(中等學生用).....5.00ヨリ  
短靴(女學生用).....4.50ヨリ  
同 サングル(小學生用).....1.00ヨリ  
他 ゴム靴各種取揃テアリマス

菊地靴店 平四丁目

### 看護婦急派の求めに應じます

平町南町  
平看護婦會  
電話三〇七番

### 佐藤挽物製作所

各種挽物 丸盆類 木製教育玩具製作 家具附屬品一式

平町十五丁目三十番地 電話(ヤマ)又ハ(カノ)

特約店  
いづみや玩具店 金太郎玩具店  
森下玩具店 イワキ屋便利店 立花屋商店

### 靈効散(無効返)

胃腸病藥の王座を占むる純漢法藥

松前家傳

ホントに北海道で出來た靈藥が着荷致しました。今迄のは福島市内で製藥したので兎角の批評がありました。今度のものは真正のもので奏効確なものです。服用しなくては其の眞價が判りませんから、皆様見本品を差上げます。御遠慮なくいらつしやつて下さい。見本品でも二日間飲まれますから胃腸病に苦しむ方、惱病、心臓、痔疾の方は是非御試し下さい。クセにならず根治致します。小兒用の靈効散も出來ました。

定價  
試用分(八日分) 輕症用(廿日分)  
重症用(四十五日)

販賣部 地方代理店 阿康藥業

電話四四番

### 安齊外科醫院

平町田町  
電話四七五番

### 外科 X 光線科

性病科 外科

意隨院入